

## 『奇跡の背番号1』（8月30日）を振り返って・・・

「1」。この背番号をもらう人は「周りから信頼され、運動能力も高い人物」そんな風に考えていませんか？広田くんは、左半身不随になり野球をあきらめそうになりますが、一度野球に向き合い高校でも、毎日黙々と練習し、苦しいリハビリも続けます。その姿を見た部員たちは、彼をエースとして出場させてほしいと嘆願します。そこから、クラブ全員が一つになり練習とリハビリに協力します。夏の大会での条件は「一人でも塁に出したら交代」。昔のような速球は無理でも皆の応援を受け渾身の一球を投げていきます。しかし、7球目、とうとう塁に出してしまいました。最後に、深々と礼をした広田くん。さて、エースナンバーをつけられる人というのは、いったいどんな人なのでしょう。

<みんなの感想より>

●エースとは、チームの中で1番上手な人というイメージがあったけれど、今日で変わりました。エースというのは、「チームのために何かできる人」「目標を立て、それに向かって頑張ることができる人」「自分が頑張ることでまわりの人たちを巻き込んで、全員で頑張れるようにする人」のことだと思います。

●自分は変わっても、周りの流れを変えていける存在になるということはすごく難しいことだと思った。でも、部活だけでなく、もっと小さい場所でもそのような存在の人はいるんじゃないかと思うし、『エース』というものを身近に感じる事ができた。

●僕が思うエースはみんなが見ていないところでとても頑張ってコツコツ努力している人だと思う。コツコツとがんばっているから技術面も上達するし、そのスポーツにそれだけ打ち込んでいるので、気持ちの面でも、チームの中で1番になるんだと思う。だからと言って調子に乗ってチームメイトに上から言ったりするのは違うし、チーム全員の性格や気持ちを理解し、まとめられる人が真のエースだと僕は思います。

●エースは、ただ技術が高いとか上手とかではなく目標をもち、周りに認められるような努力をしている人が向いているのかもしれない。

●野球でも他のスポーツでも中心となる人は姿勢で見せないといけません。日頃の態度であったり練習に取り組む姿など、チームメイトに信頼されることで初めて「エース」「キャプテン」にふさわしい人になれると思います。これから行われる学校行事の中で姿勢で見せられる人になりたいです。

●エースとは、みんなから信頼されて上手な人で、周りにやる気を出させる人だと思いました。この話では、一人の人を見て、みんながやる気になって一致団結することができていた。こういう人がエースだと思いました。僕は何かあったら、すぐにあきらめてしまうけど、彼は最後まであきらめないでやろうとする気持ちがすごいと思うし、すぐあきらめたらだめだなと感じさせられた。

●エースというのは努力を忘れない人、信頼されている人だとあらためてわかりました。そして、どんな人でも、その努力をすればエースになれると思いました。いろいろ考えて少しでも努力して、少しでも信頼される人物になりたいです。